

県指定

所在地：小原

もくぞうだいにちによらいざぞう

木造大日如来坐像

ちけんいん
智拳印を結ぶ金剛界の
大日如来像である。面部
は端正そのもの、肉どり
も豊かである。じょうはくも 条帛や裳
の衣文は浅く、簡潔に彫
られている。両膝を大き
く張って、安定よく結跏
趺坐する。

寄木造で、幹部は前後
には矧ぐが、前面のみ首で
割矧ぎ、膝部を寄せてい
る。平安時代の特徴を持
つ優品である。

大日堂所在。像高97cm。

